



GIKEN

SILENT PILER[®] **F301**

ハット形鋼矢板900仕様

複合式圧入機 NETIS登録番号:CB-080010-VE
(国土交通省 新技術情報提供システム)

ハット形鋼矢板900に対応した複合式圧入機

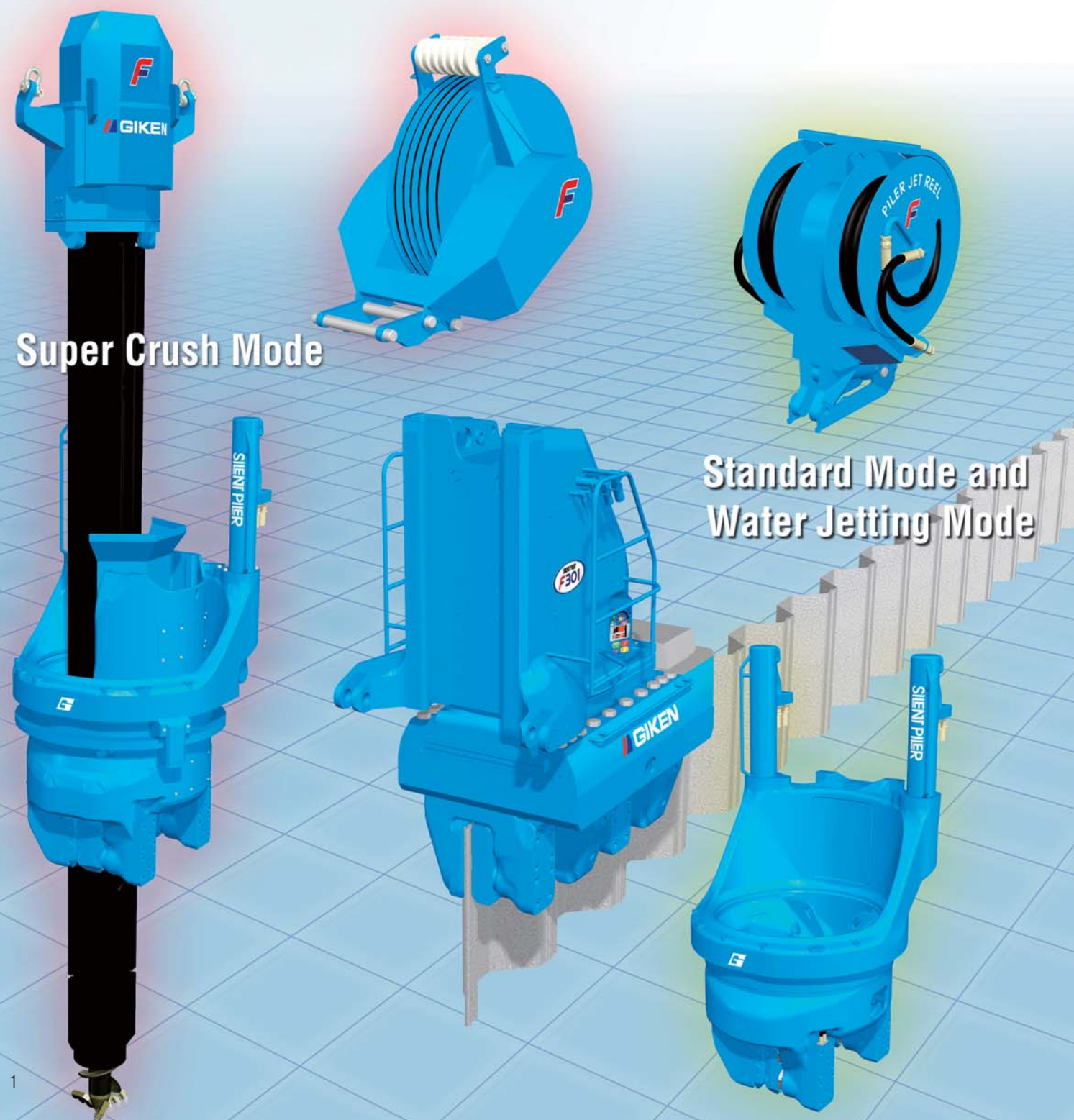
SILENT PIER® F301

サイレントパイラーF301

Flexible and Functional Formula

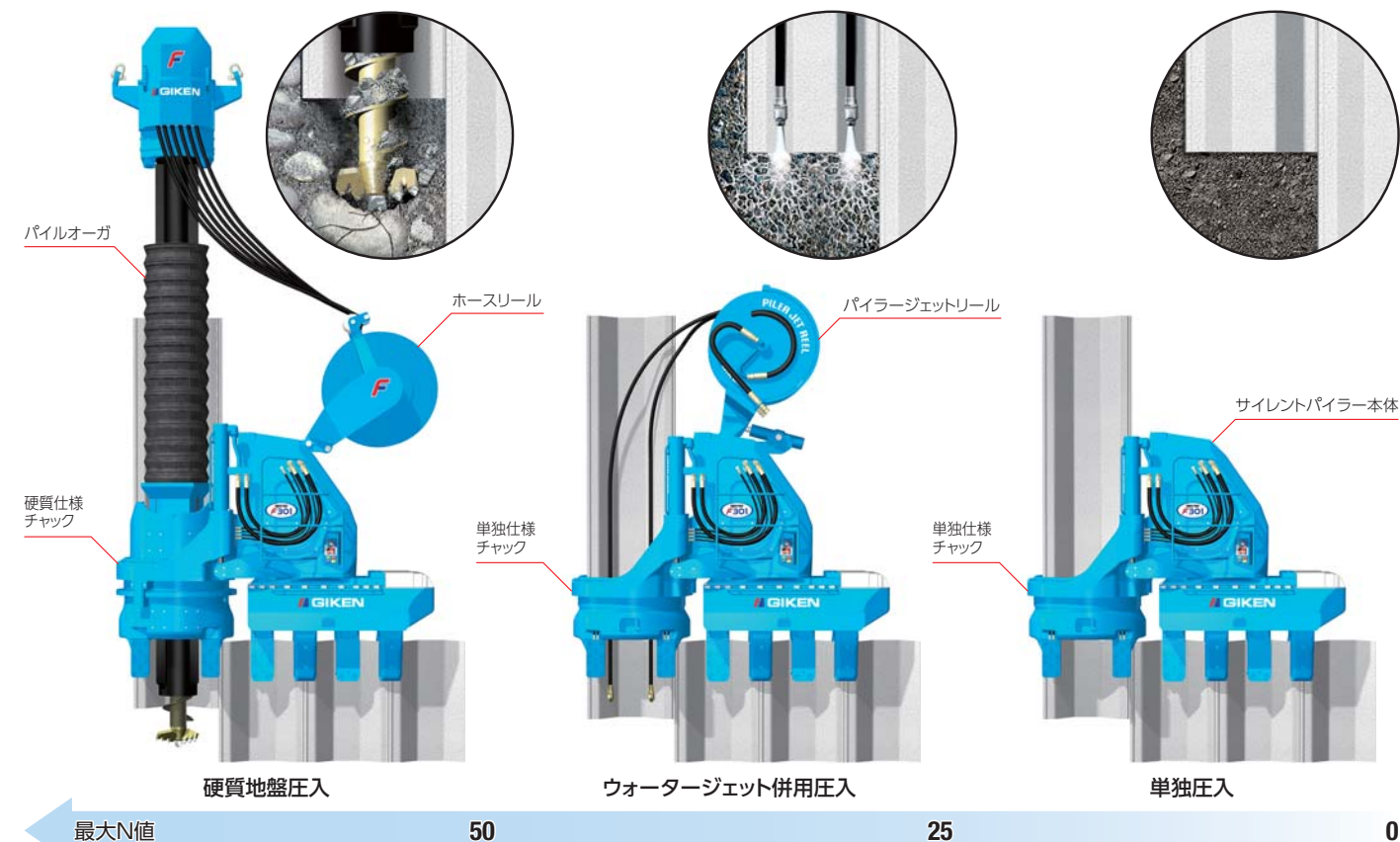
モジュール化設計で、より柔軟に、高機能に進化

サイレントパイラーFシリーズは、「モジュール化設計（構成部品の標準化）」に基づき、すべてのパーツを構造・形状・材料から見直し、徹底的に最適化しました。最新の制御システムを搭載したプラットフォームをベースに、主要なモジュールの組み換えだけで柔軟に機能を拡張できると同時に、各パーツの長寿命化を実現した次世代型圧入機です。



1 モジュール化設計による現場稼働率のアップ

F301はチャック、チャックフレームの換装、アタッチメントの装着により、1台の圧入機で単独圧入、ウォータージェット併用圧入、硬質地盤圧入の3種類の圧入工法が選択可能な複合式圧入機です。1台で様々な地盤条件と施工環境に対応した圧入施工を実施できるため、現場稼働率がアップします。



2 新制御システムによる長寿命・高機能化

新しく開発した制御システムは、施工時の圧入姿勢を認識することで各動作における負荷を適正にコントロールし、各パーツの長寿命化を実現しました。また、圧入力定荷重制御機能やオーガトルク無段階制御機能の搭載により、操作性を格段に向上させました。



3 杭材との相乗効果による高い施工性

ハット形鋼矢板900の杭材特性と圧入の優位性を最大限に発揮できる施工を実現します。

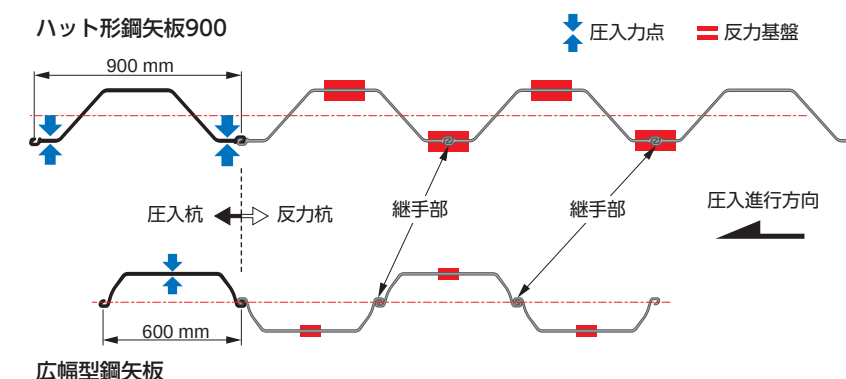
2箇所の圧入力点

杭材の両端2箇所に圧入力点（圧入力を加える位置）を設けることで、圧入パワーを確実に伝達します。

安定した反力基盤

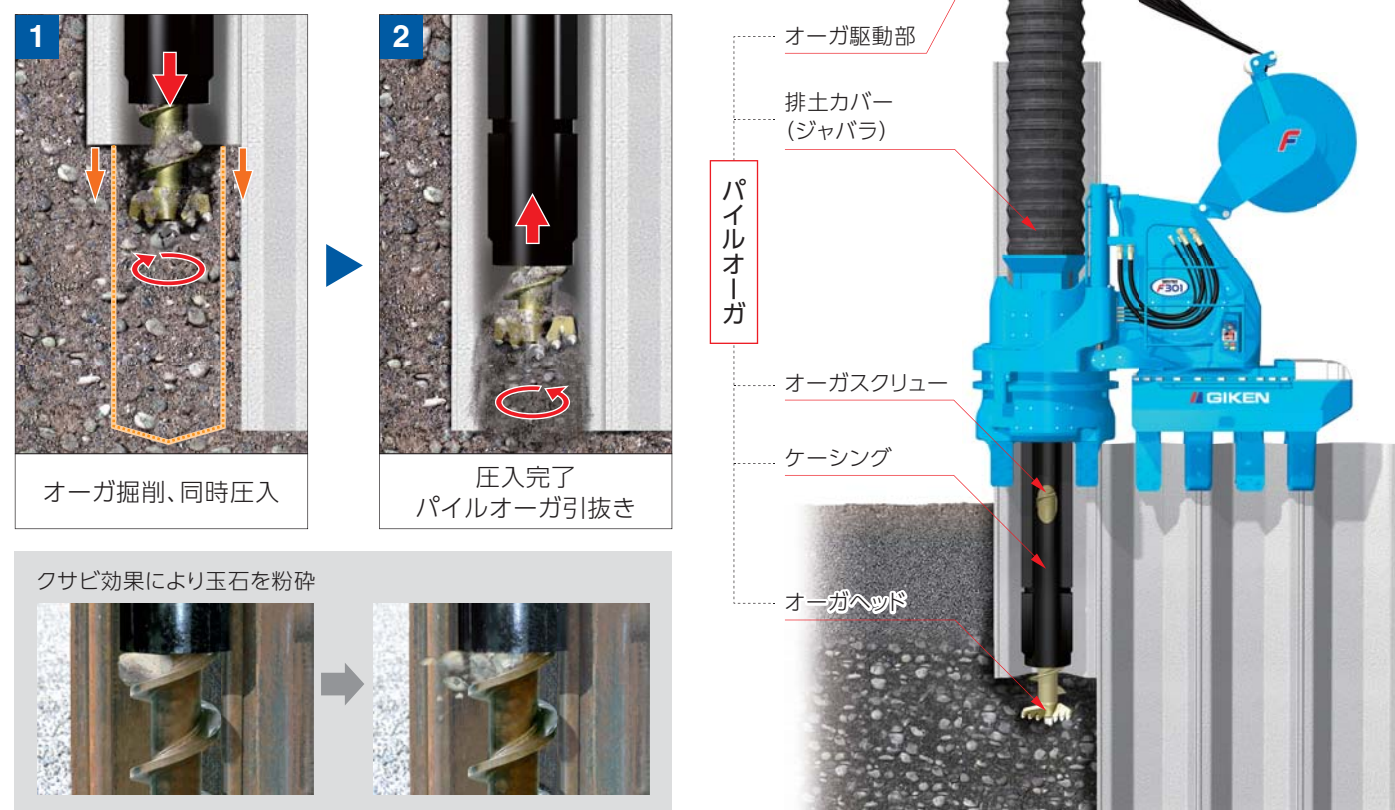
3枚の反力杭の継手部を挟んだ状態で掴み一体化させることで、より安定した強い反力基盤を構築できます。

ハット形鋼矢板 900 と広幅型鋼矢板の比較



4 硬質地盤への対応

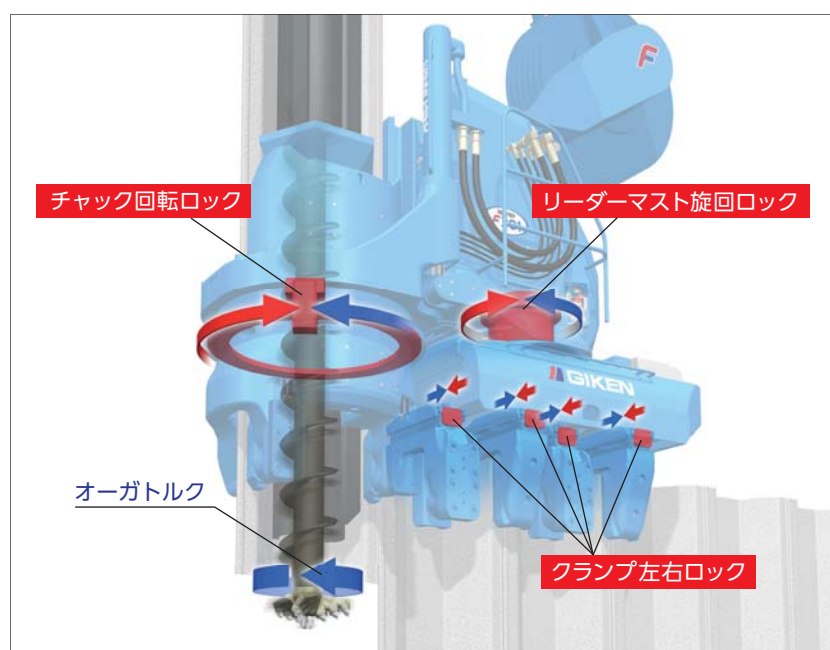
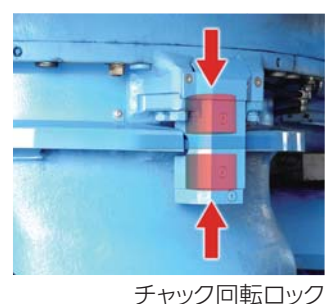
GIKEN独自の「芯抜き理論」を実用化し、砂礫層や玉石層などの硬質地盤でも圧入工法の優位性を損なわずに杭施工を可能にした「硬質地盤クリア工法」。これまでの先行機による数多くの施工実績が、工法の優位性を証明しています。パイルオーガによる掘削はあくまで圧入補助として最小限に抑えるので、排土量は少なく、周辺地盤を乱さないため、強い支持力をもった完成杭を急速に構築できます。また、従来工法では困難とされた傾斜地や水上での施工も可能で、システム施工技術により仮設工事を一掃し、環境負荷を大幅に低減させます。



施工能力を向上させるロック機構搭載

チャック回転ロック、リーダーマスト旋回ロック、クランプ左右ロックにより、オーガでの掘削時に圧入機本体の姿勢をしっかりと固定できます。強固な反力基盤に支えられた確実なオーガトルク伝達は、掘削能力を高め、施工精度を向上させます。

【特許 第4250060号】



5 卓越した環境配慮設計

オフロード法に適合した新パワーユニット

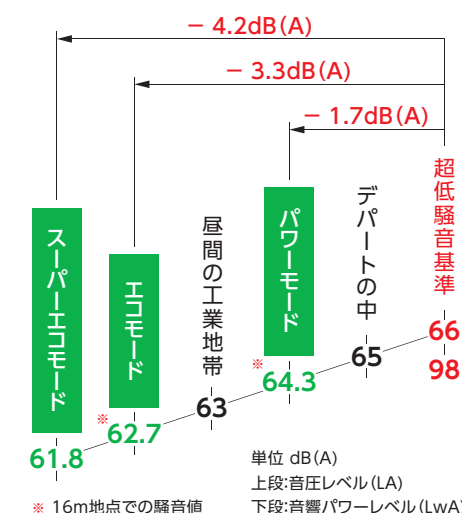
パワーユニットには新世代環境対応型エンジンを搭載しました。高い燃焼効率と当社独自の油圧制御技術により、徹底した排出ガスのクリーン化を実現し、オフロード法※1に適合しています。
(国土交通省 排出ガス第3次基準対応)

※1 オフロード法：特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 (平成18年10月使用規制開始)



国土交通省基準値を高レベルでクリアした超低騒音設計

国土交通省の超低騒音基準である音圧レベル (LA) 66dB (A) に対し、高いレベルで基準をクリアしています。



生分解性油脂を標準採用

ECOシリーズから標準採用して、高い評価を受けている圧入機専用の生分解性作動油 (パイラーエコオイル) とグリース (パイラーエコグリース) を使用しています。万が一、水中や土壌に流出しても自然界のバクテリアによって分解され、生態系に影響を与えません。更に、機体にはTXフリー無鉛塗料※2を使用し、環境対策は万全です。

※2 トルエン、キシレン、鉛系顔料などを含まない環境対応型塗料

生分解性油脂
パイラーエコ
オイル
グリース

6 科学的圧入施工と先進の情報化技術

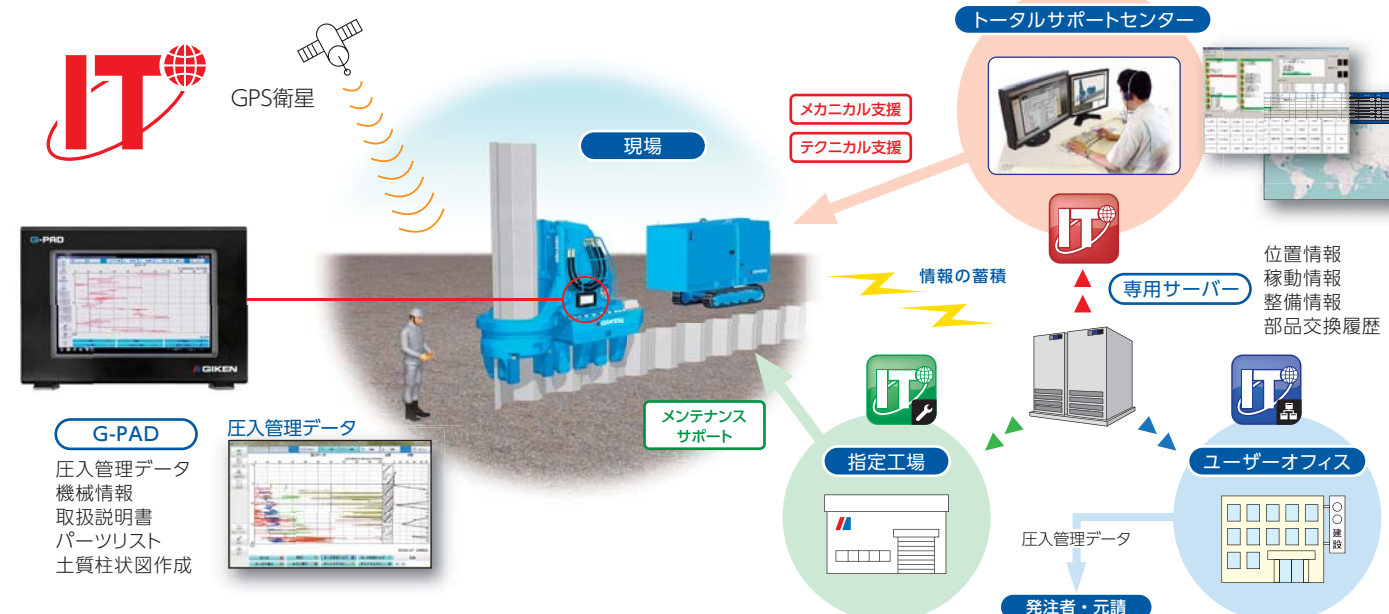
新GIKEN ITシステム搭載

世界中※で稼働している圧入機の位置情報、メンテナンス情報、稼働情報が自動的に専用のサーバーに蓄積されます。これらの情報を分析することで、トラブルへの的確な判断、対処だけでなく、テクニカル支援、メカニカル支援なども効果的に行えます。 ※ 通信機器の認証許可がない国では、GIKEN ITが使用できない場合があります。

信頼の証、圧入管理データ

鋼矢板1枚毎に施工状況を記録した圧入管理データ (圧入力、オーガ回転トルク、圧入時間など) は、圧入実績の証明となり科学的な施工管理が行えます。また、新採用のタブレット端末 G-PAD (GIKEN Press-In Assistance Display) により、オペレータは圧入管理データをリアルタイムに確認しながら施工できます。

新GIKEN ITシステムの仕組み



【圧入機製品の販売・GTOSS・技術支援】企画営業部 プロモーション課 / トータルサポート課 pro-tokyo@giken.com

東京本社 〒135-0063 東京都江東区有明1丁目3番28号  **03-3528-1636**
 **03-3528-1660**

高知本社 〒781-5195 高知県高知市布師田3948番地1  **088-846-2947**
 **088-826-5288**

【新工法提案・工法設計・積算・コンサルティング】工法事業部 工法推進課

〒135-0063 東京都江東区有明1丁目3番28号  **03-3528-1633**
 koho@giken.com  **03-3527-6055**

【製品の保守・保全】プロダクトサポート部 プロダクトサポート課

〒781-5195 高知県高知市布師田3948番地1  **088-846-2945**
 ps@giken.com  **088-826-5288**

東京本社 / 〒135-0063 東京都江東区有明1丁目3番28号  **03-3528-1630**  **03-5530-7061**
高知本社 / 〒781-5195 高知県高知市布師田3948番地1  **088-846-2933**  **088-846-2939**

事業拠点 東京、高知、仙台、大阪、兵庫、福岡、イギリス、ドイツ、オランダ、アメリカ、シンガポール、中国（上海、香港）

研究開発 テクニカルセンター、実証試験場（7ヶ所） **情報発信** IPC国際圧入センター（東京、仙台、大阪、福岡）